

(別添1)

## 関東信越厚生局職場体験実習に関する覚書

関東信越厚生局と〇〇〇〇(学校名)(以下、「大学等」という。)は、  
〇〇〇〇(氏名)(以下、「学生」という。)の関東信越厚生局職場体験実習(以下、「実習」という。)の実施について、下記のとおり覚書を締結する。

### 記

#### 第1 基本的役割

##### 1 実習生の受け入れ

関東信越厚生局は、学生を令和〇〇年〇〇月〇〇日から令和〇〇年〇〇月〇〇日までの期間(以下、「実習期間」という。)、学生を職場体験実習生として受け入れ、実習をさせることとし、その期間、学生に対して必要な指導・助言を行う。

実習期間のうち、原則として土曜日、日曜日及び国民の祝日には実習を行わない。

##### 2 大学等の指導

大学等は、学生に対し、本覚書に定める事項を周知するとともに、円滑な実習を進めるために必要な指導等を行う。

##### 3 関東信越厚生局と大学等の連携

関東信越厚生局と大学等は、実習の実施に当たり、お互いに連携・協力を行う。

#### 第2 実習時間、参加経費及び事故への対応

##### 1 実習時間

実習時間は、9時00分から17時15分まで(以下、「定時」という。)とし、このうち、12時から13時までを休憩時間とする。

なお、定時以外にも実習を行うことがある。

##### 2 実習場所

実習場所は、関東信越厚生局(〇〇(実際に実習する場所))とする。

##### 3 参加経費

(1) 関東信越厚生局は、学生に対して、手当及び参加経費(交通費、滞在費、食事代、保険料等)を一切支給しない。

(2) 実習に必要な参加経費は、学生又は大学等が負担することとする。

#### 4 実習中の事故等

- (1) 実習に参加する学生は、原則として学生教育研究賠償責任保険、インターンシップ等賠償責任保険などの賠償責任保険及び傷害保険に加入していなければならない。
- (2) 学生が関東信越厚生局又は第三者に損害を与えた場合は、賠償責任保険により補償する。
- (3) 実習中の事故により学生が傷害を負った場合は、学生の加入する傷害保険により補償する。なお、大学等及び学生は当該保険の保険金の範囲内で関東信越厚生局に対する求償権を放棄する。
- (4) 上記(1)から(3)の保険の利用に関する手続等については、大学等が行う。

### 第3 実習中の遵守事項等

- 1 実習期間中、学生は国家公務員としての身分は保有しないが、公務の適正な運営の確保等が図られるように行動するものとし、公務の信用を失墜するような行為を行ってはならない。
- 2 学生が実習期間中に公務の信用を失墜するような行為その他不都合な行為を行った場合、関東信越厚生局は当該学生に係る実習を打ち切ることができるものとする。
- 3 実習時間中は、実習に専念するものとし、実習に支障が生じないよう、登庁するものとする。
- 4 学生は、実習を欠務しようとする場合は、事前に関東信越厚生局に申し出るものとし、関東信越厚生局からの指示に従うものとする。やむを得ず、事前に申し出ることができない場合であっても、事後、速やかに関東信越厚生局に連絡するものとする。
- 5 学生は、実習中に知ることができた秘密について、実習中及び実習期間終了後、部外者(大学等を含む。)に漏らしてはならない。
- 6 学生は、実習の成果を論文等により外部に発表する場合には、事前に学生を受け入れた課室の承認を得なければならないものとする。
- 7 関東信越厚生局は、上記2に該当する場合のほか実習中の遵守事項等に従わないときは実習を打ち切ることができるものとし、その際には速やかに大学等にその旨を通知する。

### 第4 協議

本覚書に定めがない事項等については、関東信越厚生局と大学等が協議した上で決定するものとする。

本覚書の締結を証するため、本書2通を作成し、関東信越厚生局及び大学等が記名捺印の上、それぞれ1通を保管するものとする。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

関東信越厚生局長      ○ ○ ○ ○

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇      ○ ○ ○ ○  
(総括責任者)